

## 沖縄島北部における IUCN 現地視察に向けた重点課題について

※以下について実施主体及び検討の方向性を整理することが必要

### 1. 希少野生動植物の密猟・盗採防止

- ・密猟・盗採防止のための監視体制の強化方針の提示（沖縄県、3村、環境省、林野庁）
- ・密猟・盗採行為の抑止方法の検討（環境省、3村、国頭村森林組合）

### 2. 遺産地間を繋ぐコリドー機能強化

- ・辺戸岳周辺と脊梁山地との森林の連続性確保に向けた検討（国頭村、国頭村森林組合、株式会社南都、環境省）
- ・ネクマチヂ岳周辺と脊梁山地との森林の連続性の確保に向けた検討（大宜味村、土地所有者等）

### 3. 希少生物保全対策としてのイヌ・ネコ対策の強化

- ・野生下のネコの捕獲継続と効果の明示
- ・地域住民・転入者への条例の周知・徹底に向けた具体的取組
- ・発生源対策の強化（ペットの適正飼養に対する意識向上への具体的取組）
- ・捕獲個体の適正な保護収容の実施と譲渡促進に向けた具体的取組

### 4. 適切な利用コントロール・利用ルールの設定

- ・利用コントロールや利用ルールの方針・手法の検討状況と実現・利用ルールの現場への普及・浸透に向けた道筋の提示（森林ツーリズム推進協議会（未設立））

### 5. 普及啓発活動の実施

- ・地域住民の世界遺産に関する理解・協力促進に向けた具体的取組（3村（教育委員会含む）、環境省、沖縄県）
- ・県民・観光客への世界遺産価値の普及啓発に向けた具体的取組（沖縄県、環境省）

### 6. 適切なモニタリングの実施・情報の活用

- ・モニタリング計画の策定に向けた検討への着手（環境省、沖縄県）
- ・行動計画の進捗管理を通じたモニタリングと成果検証の仕組みの運用（北部部会関係行政機関）